

「シーガー使って今日も快釣」

シーガーPE X8 4号400m巻

★今回2人が使用した道糸は「シーガーPEX8」の4号。高強度&高感度PEラインで、コストパフォーマンスに優れている。不意の高切れなどに対応するため、電動リールに道糸を巻くとき下巻きなして巻けるだけ巻くケースがある。このためにラインナップされているのが400メートル巻きだ。「今回、持参したシマノのピーストマスター2000EJには4号400メートルがピッタリ収まります」と鈴木さん。

▶シーガーPE X8=0.4~6号まで12アイテムを用意。号数により150~400mまで各種。価格はオープン



シーガー船ハリス 100m巻12号



★ヤリイカ仕掛けの幹糸には通常5~8号が使用されるが、鈴木さんの仕掛けは「シーガー船ハリス」12号と太め。「とにかくさばきやすいのが特徴です。太くても乗りに影響することはありませんし、たぐるときに絡みにくいので手返しもよくなります」と鈴木さん。

シーガー船ハリスは強さとしなやかさをバランスよく持ち合わせ、水に近い屈折率を持つクリアなライン。極めて低い吸水性で長時間の水中使用でも高強度を維持する。

◀シーガー船ハリス100m巻=1.5~14号まで13アイテムを用意。価格はオープン



▲取り込みは糸を緩めないことが大切

鈴木さんのヤリイカ仕掛け

◎写真左がブラズノ14センチの直結、右が11センチのブランコ仕掛け。どちらもツノ数は8本、幹糸はシーガー船ハリス12号、枝スが同3号10センチ



▲追い乗りを狙ってから巻き上げ。さて何杯付いているか



▲シーガーFXR船100m巻=2~20号まで14アイテムを用意。価格は3200~8400円(税別)



▲今井さんはブラズノ14センチの直結仕掛け。枝間は130センチ、ツノ数は7本。幹糸はしなやかさと耐衝撃性を持つシーガーFXR船8号を使用

▲サバが邪魔するときは直結仕掛けが有効

▲「少なくとも2杯は乗ってます」とニコニコしながら巻き上げる鈴木さん



▲合図と同時に仕掛けを投入する



▲移動時間を利用してスルメイカの船上干しを作る今井さん



▲同船した藤井さんもジャンボサイズに大満足



★大中ヤリのダブルを披露する今井さん

釣れる釣れる釣れる
釣れる釣れる釣れる
釣れる釣れる釣れる



★穂先に出る変化を見て合わせを入れる鈴木さん



▲序盤は単発が多かった



▲信頼の道糸、ハリスがあってこそ多点掛け

Challenge #47 内房洲ノ崎栄ノ浦港出船のヤリイカ

鈴木新太郎、今井寿美礼 南房白浜沖でヤリイカを楽しむ

●本格的なヤリイカシーズンに突入し、各地の釣り場で釣況が急上昇。南房白浜沖もその一つ、胴長40センチを超える大型ぞろいで釣り味、食味も抜群の熱い

強い西風が吹き付ける寒い朝だった。乗船する南房洲ノ崎栄ノ浦港に集まったのはチームシーガーの鈴木新太郎さん、今井寿美礼さんに加え、今回はゲストとして外房大原長福丸の藤井大佑船長が同行している。久しぶりの釣りに燃える3人は悪天候もどこ吹く風、さっそく準備に取りかかった。

鈴木さんの自製仕掛けは「シーガー船ハリス」12号を使用したブラズノ14センチの直結仕掛けで、オモリは150号を使用する。

「幹糸の太さでイカの乗りが変わるわけではないので、さばきやすさを優先して12号にしています」と鈴木さん。

今井さんは「シーガーFXR船」8号で自製したブラズノ14センチの直結仕掛けを投入器に収めている。

「直結仕掛けは結び目に気を遣います。FXR船なら強度もあって糸グセもつきにくいので愛用しているんです」と今井さん。

6時過ぎに出船し、40分ほどで白浜沖の水深170メートル前後に到着。

最初の流しは鈴木さんがスルメイカを取り込み、次の流しでは今井さんがヤリイカを上げる。その後、サバが邪魔するようになりポイント移動。

「水深190メートル。反応は底付近です」とのアナウンスで再開となる。

ここには内房勝山港や南房乙浜港などのヤリイカ船が集まり、あちこちでイカが取り込まれている。周囲の状況

INFORMATION
南房・洲ノ崎栄ノ浦港
早川丸
☎0470-29-1095
(詳細は巻末の情報欄参照)
▶料金=ヤリイカ乗合一人1万円(氷付き)
▶備考=6時半出船。ほかイサキへも出船
早川 元樹船長